

事務事業名		農地中間管理機構集積支援事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目			
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興						会計	款	項	目
	基本事業名	01 農業経営の安定化				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成22 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	06	01	01
根拠法令		農地中間管理事業の推進に関する法律									
所属	部課名	農業委員会事務局									
	課長名	志田 重男									
	係 名	庶務係	電話	27-3111							
	担当者	細谷 真実	内線	357							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
岩手県農地中間管理事業を円滑に促進するため支援する事業 (農地中間管理事業は、農業の生産性を上げるため、担い手に農地を集積・集約し、農用地の利用の効率化を図る事業である。その事業の中で市町村が農地利用配分計画を策定するが、農業委員会の意見聴取が基本となる。その業務を円滑に進めるためには農地の情報を的確に把握する必要がある。) 主な業務 ①農地法に基づく農地利用状況調査・指導の実施 ②農地の有効利用促進のための指導力向上を図る各種研修会への出席 主な支出 ①農地利用状況調査用臨時職員賃金 ②農地の有効活用のための研修会出席旅費・費用弁償						総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		
都道府県支出金											
地方債											
その他											
						事業費計 (A)	0				
						正規職員従事人数					
						延べ業務時間					
						人件費計 (B)	0				
						トータルコスト(A)+(B)	0				

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・補助金(10/10)を利用し、農地利用状況調査を行い、農地基本台帳を整備した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・農地利用状況調査 ・農地の有効利用を図るための各種研修会への参加	  	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 農地利用状況等調査</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 研修出席者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 農地利用状況等調査	件	イ 研修出席者数	人	ウ	
		名称	単位							
		ア 農地利用状況等調査	件							
		イ 研修出席者数	人							
ウ										
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 農業者・農地所有者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 農地所有者(選挙人名簿登載者)</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 農地所有者(選挙人名簿登載者)	世帯	キ		ク		
名称	単位									
カ 農地所有者(選挙人名簿登載者)	世帯									
キ										
ク										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農地中間管理事業を促進することで、担い手に農地を集積する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 農業者への有効な農地活用指導件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 遊休農地解消面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 農業者への有効な農地活用指導件数	件	シ 遊休農地解消面積	ha	ス		
名称	単位									
サ 農業者への有効な農地活用指導件数	件									
シ 遊休農地解消面積	ha									
ス										
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 農地の効率的な利用や経営の安定が図られ、農産物が安定して高く売れる。										

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円	1,264	941	1,410	3,070	5,000	3,000
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	1	1	2	1	2	2
			事業費計 (A)	千 円	1,265	942	1,412	3,071	5,002	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時 間	500	1,150	1,300	1,300	1,300	1,300	
		人件費計 (B)	千 円	2,000	4,600	5,200	5,200	5,200		
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	3,265	5,542	6,612	8,271	10,202	0	
⑤活動指標			ア	件	7,287	10,439	23,000	24,000	24,000	24,000
			イ	人	-	-	85	88	88	88
			ウ							
⑥対象指標			カ	世帯	1,594	1,472	1,412	1,295	1,250	1,200
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	件	2	3	6	5	5	5
			シ	ha	0.3	0.6	0.68	2	2	2
			ス							

事務事業ID	1423	事務事業名	農地中間管理機構集積支援事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成25年国の政策見直しに伴い、耕作地の集約によって担い手の生産性を向上させる「農地中間管理機構」が各県段階で発足された。岩手県農地中間管理機構は、円滑な農地集約のために岩手県機構集積事業補助金を創設したが、その補助金を活用して実施する。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 平成22年度には、平成21年度の農地法改正により増大した業務を支援するため農地制度実施円滑化事業という名称であった。しかし、平成26年度に国の政策変更により、農地中間管理機構の業務に組替えされた。平成25年度からは、当初農地利用状況調査のみ実施していたが、農地の有効活用促進のために指導力向上を図る研修も追加実施している。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成23年の震災以降、農地の再生が進んでいない状況であり、適切な指導とともに、担い手の確保が求められている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 支援先である、農地中間管理機構は、国の農業の生産性を高め、競争力を高めるため担い手への農地の集積・集約化を目的としているため結びつく。	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 農地中間管理機構から市町村が業務を委託されているが、農地データは農業委員会のみが管理し、補助執行などをする予定である。	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 農地中間管理事業を促進する、類似した法律もないため、対象・意図は適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 25年度は、不作付地を指導して、農業委員活動により樺を植栽した。今後は個々の農地の有効活用を進めるながら、農地中間管理機構を活用する指導も併せて行うことで成果の向上が期待できる。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 遊休農地の増加につながる。また、ますます担い手の確保が難しくなる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 法律が制定され、類似事業は整理されたため、類似事業はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業費は、臨時職員賃金等国から全額補填されている。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ この事業については、現地調査は農業委員が行っており、一割程度指導にあててパトロールに同行している。農業委員は月額報酬(定額)の中で実施しており、また、事務局の指導は農業委員交代があるため欠かせないため、これ以上の削減は望めない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 主な事業内容が、農地利用状況調査、農地台帳の整備等のため、受益者負担を設定することができない。	

事務事業ID	1423	事務事業名	農地中間管理機構集積支援事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	・農地利用状況調査時期や指導の時期を早めることでパトロール件数が増加した。 ・不作付地を指導し、椿の植栽を進めた。 ・農地の有効活用のための研修会に出席し、農業者からの相談も増えている。 以上のことから、農地中間管理事業を促進する体制は整ってきているが、農地中間管理事業で求められる利用意向調査等の対応には厳しい日程である。																					
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) ・現在農業委員に寄せられる相談は、農地中間管理機構との関わり方がほとんどである。適切な対応ができるように農業委員等を研修会に積極的に参加させる。 ・農地中間管理事業では、農業委員会の意見聴取が基本として求められる。迅速な対応ができるように農地情報の把握をしなければならない。今まで6月～12月まで行っていた農地パトロールを10月頃までに終了させ、意向調査を行う日程を確保する。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
・農地中間管理事業のシステムや農業委員会の位置づけが未だ不透明である。早めに大船渡市の体制を整える。 ・他の農業委員活動との調整を早期に行う。																							

4 事務事業の2次評価結果

(職名) ※原則として施策の主管課長	(氏名)
2次評価者	農業委員会事務局長 志田 重男

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている																							
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	事務局職員及び農業委員が、農地中間管理事業の研修会だけでなく、農地を有効活用する耕作放棄地等の研修会にも積極的に出席して、農地の活用を促進する。																					
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 農業委員による、農地パトロールの完全実施とともに、農地中間管理事業の周知徹底に努める。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
